



上山小学校「風のたより」

令和5年7月5日（水） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、

自らの未来を切り拓く児童を育成する



夏休みまでもう少し！

七夕が近づくと、いつも思うことがあります。おり姫と彦星が1年に一度の再会を果たせるといいなと・・・。私たちにも会いたい人がいますが、会いたい人に限ってなかなか会えないものです。だから、せめて夢の中ででも会いたいと願うのですが、叶いません。昨年も掲載しましたが、昔の人は黒い紙に墨で願い事を書いたそうです。もちろんその願いは自



分にしかわからない秘密です。今年も正面玄関には大きな笹がたてられています。私は神様を信じる方ではないのですが、黒い紙に願い事を書いてみようかなと思っています。皆さんも、書きにいらっしやいませんか？

さて、あと半月もすると夏休みです。私は、全く楽しみではないのですが、子どもたちは指折り数えて待っています。保護者の皆様には、どのような夏休みになるのでしょうか。子供と向き合い、たくさんお話ができるといいですね(*^^*)



金魚はいきするたびじじじ
あのお断の継子のように
きれいな宝子をはくのです。

花はいきするたびじじじ
あのみよらかな、かぐわしい
花のおいをはくのです。

月はいきするたびじじじ
あのやわらかな、なつかしい
月のひかりを吐くのです。

金魚

金子みすゞ

ふるさとを思う気持ち！

皆さんにも「ふるさと」と呼べる懐かしい場所があるのではないのでしょうか。皆さんの中には、現在お住まいではないところ（遠方）に「ふるさと」をおもちの方も多いのではないかと思っています。子供の頃のことを思い出すと「あんな時代もあったねと〜♪」とほろ苦かったり、甘酸っぱかったり複雑な思いになるのは私だけでしょうか。「ふるさと」を大切に思う気持ちをもち続けたいものですね(*^*)



さて、9月の「のんのこ諫早まつり」で披露される「南諫早地区 龍踊り」の稽古が本校の体育館で行われております。今年南地区は「のんのこ諫早まつり」の踊り町となり、龍踊りを披露することになっています。本番に向けた練習は真剣そのもので、南諫早支部9町あげて練習を積み上げておられます。まさに地域一体となった三世代が集う大行事であります。私が知る限り、諫早市でこれだけ地域一体となった取組をしているところはありません。まさに「ふるさと」一丸となった取組です。もちろん子供たちも参加しますので、印象に残る思い出深い記憶となって心に刻まれることでしょう。子供に対して、大人が見せる「ふるさと」自慢ができるこの上山地区を誇りに思います。

1 学期末の学校の様子



さて、1学期末を迎えた子どもたちの姿は・・・、何ともたくましいです。教室は、気温30度を優に超える環境です。クーラーはあるものの、担任と共に噴き出す汗をぬぐいながら学習に臨んでいます。給食時間にカレーやあったかい汁ものなどが出た時は、風呂上がりのような状態です。がんばってはいるのですが、中には、お昼からの授業中に舟をこぐ子も居ります・・・(ー) これから長い夏休みに入る前のこの時期は、一つの節目として到達させたいところがあります。ですから、1学期当初に立てた目標にどれだけ近づいたか、足りない部分は何か、今どのような努力をしなければならないのか、もう一度振り返る大切な期間です。楽しい夏休みは間近です。子供たちと共に私たちががんばります。

☆上山小のHP「スミレだより」毎日更新しています。QRコードもご利用ください。